

館報

おおくま

お も な 内 容

- 2面…熊幼で創立10周年式典
- 3面…清流、お知らせ
- 4面…スポーツ傷害保険
- 5面…学級・講座生募集
- 6面…文芸
- 7・8面…みんなの広場

発行編集 大熊町公民館  
印刷所 新栄社写真美術印刷



スキー教室

雪は

冬に訪れる偉大なる母だ  
すべてを

真っ白い綿でつつんでしまふ  
広い白銀の世界

そこに

貧富の差はない

偏見も嫉妬も葛藤もない

だから無心に滑れるのだ

スキー場は

素晴らしい若者のパラダイスだ

赤 白 黄 そしてブルー

いろとりどりのウェアの花

雪煙りを立てて

シユプールを描いて走り去る者

準備体操をしている者

イチニ イチニ

講習をうけている者

スキー場は

激しい戦場のようだ

朝日にきらめく樹氷

底のぬけるような蒼い空

すがすがしいうまい空気

都会の騒音も

汚れた人情もみられない

スキーは天から与えられた  
スポーツだ

# 創立10周年を祝う 熊町幼稚園で記念式典



熊町幼稚園では、創立十周年を祝い、去る三月三日盛大に記念式典が行われた。式典には遠藤町長を始め園児、父兄など関係者二百名が出席、教育長の主催者あいさつ、園長あいさつに続いて園児を代表し、大野篤君と吉岡真由美さんが喜びの言葉をのべ、町長など多数の来賓から祝辞があり、充実に熊町幼稚園を祝いあった。このあと十周年記念事業としてつく

られた園歌と園章の披露が行われた。園歌は紺野義尚さん（前熊町幼稚園）が作詞し、大塚通永さん（熊小教諭）が作曲され、歌詞の中には本園の教育目標とされている、元気な子、やさしい子、明るい子が歌われており、子どもの健やかな成長への願いがこめられている。また、園章は西山種大さん（昨年まで熊小教諭）がデザインしたもので、カタカナのクマの文字の中に、熊町幼稚園のシンボルでもある六角園舎の円柱が組まれ、左右には子どもの元気なかわい手、「おじさんモミヂ」の木の葉をあしらった見事なデザインです。なお、この席上において、功績のあったこれらの方々と創立時から勤めている藤館静子教諭、園歌の額を表具した柄沢和男さんらに町長から感謝状が贈られた。また、園児から教職員

の皆さんに日頃の指導に感謝の花束贈呈があり、式典を終えた。熊町幼稚園歌  
「キラキラお日さまおはようさん  
リンゴのほっぺの君と僕  
熊町園児は元気な子  
緑の芝生で輪になって  
ままごとおゆうぎ遊ぼうね  
ミソソヨ風さんこんにちわ  
コマドリのうたはこんでね

## 豊かなふるさとを求め 婦人学級で研修

私たちが婦人会員は、自己教養を高めるために公民館の主催する婦人学級に参加、ここ数年研修を重ねて参りました。昭和五十四年度の年間計画もほとんど消化し、去る二月六日は残された課題の中から「豊かなふるさとをつくるため」と題して学習会が行われた。

講師には浪江町教育委員の矢沢先生を迎え家庭、社会での身近な問題をとりあげ話し合いが行われた。よい勉強でしたので学習の内容を紹介いたします。女でなければ、母でなければ出来ない思いやりの心

限らない愛情こそ豊かなふるさとをつくるのです。お金でも物でもない。このように恵まれた物質万端の時代に、もう一度まわりを見直し失われゆく思いやりの心をとり戻そうと、身近な例をとりあげ親切と話をされた。若いお母さんたち目頭をおさえながら、余韻をそっと胸に秘めたようです。

### 日の丸をたてて 園歌を歌おう

熊町園児はやさしいこ  
おじさん紅葉の木の下で  
砂山つくって遊ぼうよ  
ミブンブン蜂さんよいてんき  
夢の園舎六角形  
熊町園児は明るいこ  
ブランコ シーソー スベリ台  
仲よくやくそく守ろうね  
左にあり乳房を口にした時、赤ちゃんのほおを伝わって、鼓動が「ドキッ・ドキッ」と鳴る、その音を聞きながら心地よい眠りに入るからです。この眠りと安らぎこそ、母でなければ培われない愛情です。子守歌は、すべてこの鼓動に合わせてメロディが流れているとも言われます。

母こそは命の泉  
いとし子を胸に抱きて  
ほほ笑めり  
美わしきかな母の姿  
母を讃える歌  
近ごろは青少年の非行が後を絶たない。ちょっとしたことでも強悪な犯罪に及ぶ、しかも、それが低年齢化している。原因はどこにあるだろうか。社会環境、家庭環境の中で耐えることの知らない子どもたち。生命の大切さを知らない子どもたち。感謝の気持ちを忘れた子どもたち。いろいろな意見が出されましたが、すべては母親、父親の責任が問われる気がします。昨年の秋、いわき市の婦人会と交歓会をもちました。あちらでは市の文化祭に「母乳を見直そう」をテーマとし、栄養の分析、経済的な面、子どもの愛情を育む精神面等の効果について発表され、市民から好評を得たそうです。矢沢先生の講話の中から。皆さんは、さりげなく子どもを抱いて、どちらの乳を飲ませるか、の問いに一同左と答えました。それは心臓が

婦人会長 木幡 キサ



保険料分担金および保険金額

Table with 5 columns: 区分, 保険料(年間), 死亡・後遺障害保険金, 入院保険金額, 通院保険金額. It lists rates for two types of insurance (第1種 and 第2種) across categories A, B, and C.

職場やグループでのスポーツ活動は、年を追うごとに盛んになり、反面スポーツ活動中の事故も激増して...

スポーツ傷害保険は 三月で期間が切れます

ようおすすめします。この保険に加入できる団体...

スポーツ団体および社会教育関係団体で、指導監督者を置き、かつ十名以上で構成されている団体...

保険の種類と内容 団体の目的、活動、運動種目により別表の通り区分します。

保険料分担金および保険金額 被保険者一名につき別表の通りです。なおS型(標準型の半額)にも加入できます。

この保険で支払われる保険金 ①死亡・後遺障害保険金

②事故の日から一八〇日以内

③その傷害がもとで死亡したとき。.....一〇〇%

④事故の日から一八〇日以内

⑤その傷害がもとで後遺障害が生じたとき。三〜一〇〇%

⑥入院保険金 傷害により、医師の指示で入院したとき、事故の日から一八〇日を限度とし支払う。

⑦通院保険金 傷害を被り、生活機能または業務能力の減少をきたし、入院によらずに医師の治療を受けた場合九〇日を限度として支払う。

加入の手続きと保険期間

昭和五十五年四月一日より

昭和五十六年三月三十一日午後十二時まで。

加入受付

昭和五十五年三月二十五日から七月三十一日まで大熊町公民館で受付ます。

団体員名簿(年令記入)および団体責任者の印鑑が必要です。

(加入手続きに必要な書類は公民館にあります。)

保険の種類と内容

Table with 4 columns: 構成員, 活動内容, 小・中学生以下の子ども, 高校以上の生徒・学生あるいは社会人. It details insurance types A, B, and C for different activities.

子どもの幸せを考える



＝仲よしグループの 登校風景＝

ほおをまっ赤に染め、白い息をはずませながら登校してくる子ども。何やら友だちと朝の会話を楽しみながら登校してくる子ども。肩をすくめながら通り過ぎる子ども。寒さの厳しいある朝、通学指導のため小学校近くの街頭に立っているときの登校風景である。

しかし、一方で、親の車で送られてくる児童が多いことにおどろかされる。車の普及が著しいこともある。雨の日、風の日は、果ては寝坊で遅くなったからといって、車を送られてくる子どもが多いことも事実である。子どもの教育に対する関心は年々高まってきている。そのこと自体はすばらしいことであるが、あまりに子どもの世話をやきすぎ、かえって子ども



野馬形 佐藤大石

安全は、家庭の中から しつけから

4月は通学路になれない新入学児が多く、危険がいっぱいです。お父さん、お母さん、そしてドライバーの皆さん、新入学児童・園児を交通事故から守りましょう。

# 志賀秀正文庫 公民館に開設

大熊町が生んだ偉大な政治家志賀秀正氏逝いて八ヶ月大熊町もようやくその悲しみより起ちあがり平和な町に戻った感がある。

このほど志賀秀正氏の遺志として遺族から町に一〇〇万円の寄贈があり、町では三月定例議会に諮り氏の遺志を永く後世に伝えようと公民館の図書室内に「志賀秀正文庫」を開設することにした。

氏は生前町長時代に地域文化の向上を願い一大文化センターを建設、その中に地方まねに見るような名実とも充実した図書館を併設しようと、その構想を練っていた。その実現もみず逝かれたことは痛痕の極みでもある。しかしご遺族よりのご遺志によって「志賀秀正文庫」が創設されたことは誠に喜ばしい限りであり天上の御霊もさだめし喜んでおられることと思う。



志賀秀正文庫

ここに志賀秀正氏の履歴の主なもの列挙し、その業績を偲ぶよすがといたしたい。

明治四十年大熊町に生る

昭和十三年熊町役場に奉職

昭和三十七年大熊町長に就任

連続五期町長を歴任

泉町村会長

原子力安全確保連絡会議会長

双葉地方土地開発公社理事長

全国国土調査協会理事

等数々の要職を歴任された。

## 55年度 あなたもどうぞ 学級・講座生募集

町公民館では、地域の皆様の学習要望にこたえるべく、各種の事業を進めておりますが、学級関係については一年間の事業を終了し、四月から新たな計画のもとに開講します。また、各種講座についても学習に参加し易いように、内容を豊富にして、新年度もひきつづき開講します。

### 婦人学級

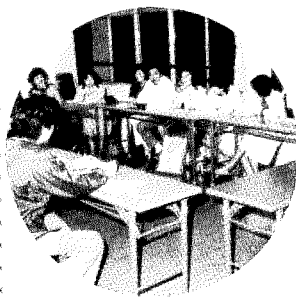
社会の変化に対応し得るよう婦人としての教養を高める学習です。対象は家庭婦人です。

### 家庭教育学級

家庭における子どもの教育、親としての果すべき役割等についての学習です。対象は幼児を持つ母親です。

### 青年学級

若人が集う楽しい学級です。研修やレク活動を通して多くの仲間と正しい人間関係を身につけよう。対象は二十五才までの青年男女です。



町内の多くの仲間と共に集い、楽しい日々を過ごしましょう。対象は六十五才以上の高令者です。



詩吟講座  
毎週第一・第三火曜日、午後六時から東流宗家、寺門吟狂先生が指導します。

民謡講座(二講座)  
毎週第一・第三木曜日、午後七時から半谷捷一郎先生が指導します。

毎月第二・第四木曜日午後七時から今泉ヒデ子先生が指導します。

書道講座(成人の部)  
毎週金曜日、午後六時三十分から井戸川碧水先生が指導します。

書道講座(高校生・一般の部)  
毎週火曜日、午後六時から泉田輝陽先生が指導します。

今すぐ役立つ家庭のメニューです。月一〜二回の実習で女性ならだれでも入れます。

茶道講座(華道：小原流も同時開催)  
毎週金曜日、午後三時から小峰美弥子先生が指導します。

華道講座  
毎週水曜日、午前十時から龍生派家元教授古小高路陽先生の指導で美と芸術を楽しめます。

夜間の部  
毎月第一・第三金曜日、午後五時から昼間と同じ内容で開講します。

短歌教室  
毎月第二土曜日、午後一時三十分から青田サダ先生の指導で短歌をつくってみたい方はだれでも入れます。

珠算講座  
毎週火・金曜日、午後二時から山田玲子先生が指導します。

親子読書会  
親と子の読書活動です。十名以上のグループをつくって申込みください。毎月楽しく、面白い本をお届けします。

受講申込  
受講希望者は住所、氏名、所属学級、講座名を四月二十日までに大熊町公民館へ

# 文芸

## 詩

### 白わく

大小四年 齋藤久美子  
 いぬのふぐりがみつかった  
 小さな水色の花  
 しば草の中から  
 によきつとのびた  
 小さな葉っぱの 小さな花たち  
 いぬのふぐりだ  
 草野心平のかえるがみつけた  
 いぬのふぐり  
 そっと においをかいてみた  
 草のかおりだ  
 春のにおいだ

### テスト

大小四年 草野 繁樹  
 算数のテストがはじまった  
 これは かんたんだなあ  
 にこにこしながら問題をといた  
 問題六につかまった  
 さあ わからない どうしよう  
 ぼくって バカだなあ  
 「わからない」とさげんだら  
 先生が ぼくの顔を見た  
 先生の顔の中に  
 一辺かける一辺と書いてあった  
 ぼくは よろこんで計算した  
 さあ できた

## 短歌

荒岡 正一

参拝の人まばらなる境内に  
 寒椿群るなか梅の咲き居り

木下 千代子

倒産を共にせし庭木見あぐれば  
 梅の実二つポロポロと落つ

鎌田 清衛

山里よりそりに乗せて米し梅古木  
 新縄巻きて芽萌き待ちいる

松本 ミヨ子

木々は皆はだかとなりて寒の入り  
 色どり添へる黄梅の花

高桑 重乃

我が家の花梅咲きて二つ三つ  
 実を結びたり嬉しさに声あぐ

我が家の花梅咲きて二つ三つ  
 実を結びたり嬉しさに声あぐ

## 俳句

木村 蓉子

整理田の真一文字に初日受く  
 姉の忌を迎へて庭にぼたん雪

猪井 静枝

枯菊を焚きて仄かな匂ひかな  
 ブルドーザ地をふるわして寒椿

菅野 ミヨ

降る雪に唄をきそひて湯治客  
 寒の雨枯木に銀の鈴となり

飯村 洋子

枯るものをはるかに遠し友の家  
 初詣大篝火に輪をひろぐ

川木 裕子

七草のかゆの湯気あび老ひし母  
 父母恋しはらから恋し雑煮餅

武内 よね子

老人クラブ師走温泉に嬉々として

中野 明衣

新しき手袋はめて始業式に  
 急ぎ行く子のはく息白し

川木 裕子

熊川の渚に立ちて波間より  
 出て来る初日待ち佗びて居ぬ

中山 貞夫

凍み解けし道来る子等を迎えたる  
 犬の立尾のいつぞゆれ止む

小林 かおる

福寿草のかたきつぼみは雪を分け  
 寄りそいながら春を待つらむ

高野 昭二

岩を唾む寒涛の上の薬師寺は  
 しきりに構散る音のして

せせらぎや片を摘む手に息かける

永井 善子

お正月只忙しくすぎにけり  
 今更に老の身にしむ寒の空

一戸 多磨子

終点のバス戻り行き年暮るる  
 南天の実のひとつ毎初日受く

中山 安子

炭焼の煙乱れなき日和かな  
 病み抜けし顔を撫でみる寒の入り

佐久間 信子

黄の蝶のぼっかり出でて冬ぬくし  
 みどり児の無垢のねむりの冬至かな

渡辺 政美

山眠る己が衾を整えて  
 まな板に刃物懸へる冬嵐

結城 千代

省エネや着ぶくれて世にさからへる  
 淡雪の一刻程の風情かな

## 入稿

### 姥田の池

むかし。  
 野上の里に片倉主水(もんど)という豪族  
 が住んでいました。大へん静か  
 な里でしたので主水も里人も幸  
 せな毎日を送っていました。城  
 のある山を里人は片倉山といっ  
 ていました。  
 城下には人々も住みつき、小  
 さな町もできましたが、何分  
 もせまい谷間でしたので、家来  
 の多くは野上の里で百姓をしな  
 がら城を守っていました。  
 平和になれた家来たちは、時  
 々見張りを怠っていました。こ  
 れを知っていた隣の城主が、雨  
 嵐の中を攻めて来ました。  
 城の番兵が早鐘をついて急を  
 知らせました。野上の兵が城に  
 かけつけた時、城は包囲されて  
 中に入ることはできませんでし  
 た。  
 そのうち城の士たちも敵の一  
 角を打ち破り北の方へと逃げの  
 びました。城下には誰一人残っ  
 ておりません。  
 その中に年のころ八十ばかり  
 の姥が一人取り残されました。  
 逃げることもできず、さりとて  
 このままでは敵に捕えられます。  
 「諏訪大明神助け給い」としば  
 し目をつぶってお祈りしている  
 うちに、すぐ目の前の手作りし  
 ていた小さな田が忽ち大きな池と  
 なりました。そして池の中には、き  
 れいなハスの花が咲いていました。  
 姥はこここそ神様が私に与えて下  
 さった逃げ場所だと思い、両手を  
 合せてさんぶとばかり身を投げま  
 した。  
 今はその池の跡はありませんが  
 きれいな清水がこんこんと流れ出  
 て尽きることがありません。  
 里人は姥の霊をなぐさめるため  
 神様にまつりました。姥神様とい  
 います。地名にも姥神というところ  
 があります。また館のあった下  
 を館下、近くの沢を館沢とよんで  
 います。(明治四十四年、大野小  
 学校の先生方がつくられた大野村  
 誌からとりました。)

### 御礼

#### 図書の寄贈

この度、小松邦雄さん(下野上  
 二区)から公民館へ次の図書を寄  
 贈していただきました。厚く御礼  
 申し上げます。「憲法の本質」西洋  
 経済史講座など七十八冊。  
 民俗資料の寄贈

#### 民俗資料の寄贈

この度、渡辺竹大さん(下野上  
 五区)から民俗資料として「足踏脱  
 殺機」あお「自在かき」などを寄  
 贈していただきました。厚く御礼  
 申し上げます。(文化財調査委員会)



しいたけの原木を見回る横川夫妻

### ゆとりある農業を求め しいたけの共同栽培



稲作の減反政策から農外収入を求め、他産業に従事する方々が多く、農業への不安を感じるのは私ばかりではないと思います。そこで自家農業の安定を図るため、稲作に「しいたけ栽培」をとり入れた農業経営へと改善を試みたのです。

昭和五十一年、林業事務所からの要請で県主催の林業教室に入校したのがきっかけです。郡山の林業試験場や専業の「しいたけ栽培」農家で約一年間体験し、栽培技術を身につけてきました。その時、小規模ながら約四千本ほど植菌したのが始まりです。「しいたけ栽培」には複雑な作業があり、伐採玉切り、植菌、ハウス栽培等、労力的にも無理が生じなかななか大変な仕事です。そこで、町役場にお世話になり、第二次林業構造改善事業の指定を受け、共同での「しいたけ栽培」にふみきりました。初年度(昭和五十二年度)は、三・五ヘクタールの原木山を購入、一万五千本を伐採、高温菌八割、低温菌二割を植菌しました。この年は三ヶ月に一回の割で天地返しをするのが主な作業で、水田への影響はほとんどなく稲作にも力を入れることができました。しかし、翌年の四月にはきのこの自然発生もあり、植菌作業、水稲の苗つくり田植準備などに追われ、なかなか大変な時期となります。さらに、六月中旬には水田の除草や追肥、しいたけの共同栽培等、作業が忙しくなってきましたので、仕事がかち合わないよう転回

して行くのが苦労でもありました。ある時は気温などの関係で水稲に葉害をおこした苦い経験もあります。幸い農事研究会に入っていたため、稲作もおろそかにならず両立できたものと思います。また現在実施している協同作業の良い所は、いそがしい反面、楽しいこともたくさんあります。共同体の親睦を図る家族旅行や研修会、そのほか子どもに関した学校行事、婦人会活動等色々な行事に参加するために、お互いに助け合ってゆけることです。

今後、どんなに厳しいことがあっても、経験を生かし「稲作」と「しいたけ栽培」とを両立させるため、先生の指導をたよりにがんばっていきたいと思っています。

大川原 横川美保子

### ブラジルを訪れて

最初ブラジルに行ったのが昭和五十一年十二月でした。約二ヶ月間ほど滞在し帰国しましたが、その後ふたたび訪れて色々と感じさせられました。サンパウロ州は、日本人も多いためか何となく日本的な空気が漂っていて、特に外国にいるような気はしませんでした。サンパウロ市から少し離れたマイリンケという町で、例年のように桃祭りがあるというので連れて行ってもらいました。近効の日本人が作った果物や野菜、鶏卵などがたくさん出品してありました。また老人会でやっているという植木

や盆栽が陳列してあり会員の老人五・六人が番をしていました。私たちを見て「こんにちば」と言ったので、こちらも笑って「こんにちば」と頭を下げましたが、どの人も明治から大正のしわを刻んだ方々でした。

日本人は優秀な国民だとくちぐちち言うのを聞きました。日系人の子弟は学校での成績がみんな上位を占めているそうで、教育熱心だからだとのこと。特に心にとめたのは、河川や道路、家の廻りなどにゴミを捨ててないことです。三年前にも同じこ

下野上四区 常盤ケリ (73才)

### ふるきをたずねて

大野駅設置 明治三十一年八月二十三日、待ちに待った常磐線が開通した。しかし近くには大野駅もなかった。大野熊町の人々には何の恩恵もなかった。

時の大野村長石田茂宗氏を中心となって大野駅開設の猛運動を展開した。当時は国鉄ではなく、大日本鉄道株式会社経営であった。条件として必要な土地は村で寄附すること、そのかわり工事は村請負ですることとして、同三十一年一月土地買収をすませた。地主は門馬松五郎、池田

とを感じましたが、小さな町でも町の中に必ず空地をつくり、原色の花が咲く大木を植え木蔭をつくっております。ベンチは置いてあるが、ゴミ箱は見当りません。専任の掃除夫がいて、紙屑でも捨てようものならしかられます。このてん、文明人だなんて言っている私たちは恥かしいと思えました。

また大野駅設置に努力された故石田茂宗氏その他の方々の顕彰碑は大野駅頭に建設されている。

# ただいま十一人

私の兄弟は男四人、女三人で私は下から二番目です。今なら七人となると多くてびっくりされるけど、昔は普通のようにでした。

今ではそれぞれ結婚し、子どもにも恵まれ幸せな家庭を築いています。男四人はみんな遠方に勤め、

家庭を持っているが、女三人はお互い、近所に嫁いでいるので、月に一度は家族全員が集合し、飲んで食べて、歌ったり、義兄を先生

がわりに子どもの勉強、教育のこと、また親業、特に母親業などいろいろ勉強会もかねて、夜の更けるまで和やかな一日を過ごします。

毎年、夏になると決って田舎から大熊の梨が送られてくるのをとても楽しみにしている一人である。

単に美味しいというだけでなく、梨を見ているといつしか大熊の土の香りや、懐しい人々の心に触れたような、そんな遠いふるさとの思い出をよみがえらせてくれる、いわ

ば私にとって大熊の梨は懐しいふるさとの味そのものなのである。思えば、美しい山や川、草原を曲りくねったあぜ道、れんげ畑でひばりのさえずる声を寝ながら聞いた、楽しかった子どもの頃が浮かんでくる。



## 日本の自然美はふるさとにある

畑川正之

つづつ変えており、一部には都会の悪いまねごとすら伺われてとても淋しい限りである。

このままだと日本の自然美は、やがて消えうせるかもしれない。それに比べると、ヨーロッパの因々は実にりっぱである。古い歴

めて気持だけは)そして、後々の日に、子どもたちの話題に出るくらい母親になるようにと、勉強しているところだ。

それがこの会なのだが、まだ名前がつかないと思いますので、これを機会に考えようと思っております。

## 地名をきけば

熊町 西内

私は年貢橋の近くに住んでいる。昔の年貢道路は今では立派に舗装され、大八車は大型貨物車に変わった。

私は数年前からこの大熊町に住むようになった。初めに、この土地に「沢」の名のつく地名の多いのに驚いた。「鮎沢」「唐沢」「佐山

史と伝統をかたくに守り続けているあの気力はいつかどこから生まれるのだろうか。過去一五〇〇年から二〇〇〇年前もの自然や建築物がそのまま美しく保存されてお

まったく驚きであった。日本の芸術や、日本人が持つ美意識は敗戦と共に失われたとさえ言われているが、私はそうは思いたくないのである。

それには、私達日本人の一人一人が、日本の良さを素直に理解し、

沢」「夫沢」「深沢」「せんまい沢」等また「久麻」や「行津」は常陸風土記にみる名前であろう。「行津は」行方の津」の意味だと勝手に思っている。過日所用で大川原へ行った折、途中で「木の目坂」という標識をみた。この名前につられて、周囲を見渡したところ、坂に沿って削られた土地はきれいな板目状の地層であった。だれが命名したか、きまわっている名前に感心した。大和久は「大悪」と昔は呼ばれていた。とある古老に聞いたことがある。「大悪」とは作物が稔らないほど悪い土地であったという。地名は歴史の証人のように思われる。

これからのあり方を考え、見直す時だと思ふのである。

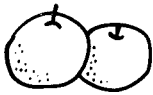
日本の自然にはやっぱりかやぶきの家が一番ふさわしいように、私達自身も日本人であることの誇りや意識を取りもどし、

これからの日本の美しさをどのようにすべきかを真剣に考え、取り組むべきだと心から願うものである。

橋本 富雄

畑川正之さんは熊町の畑川親さんの弟で、現在は守口市で松下電工(株)に勤務している。

また、芦屋芸術学院の主任講師を勤めるかたから絵画教室を開催している



## 編集後記

三月は卒業の季節でもある。父兄にとっても卒業する子どもにとっても感激と安堵の月である。「喜びも悲しみも幾年月」であったことと思う。ここからお祝い申し上げます。

卒業式。式次第も進んで在校生の送辞、そして卒業生の答辞となるころから女子生徒の白いハンカチがしきりに動く。こらえてもこらえても流れる涙をどうすることもできず、すすり泣く声すら聞えてくる。「仰げば尊しわが師の恩……」卒業式の光景である。

私は泣ける人こそ幸せだと思ふ。泣き給え、大いに泣き給え。そしてその感激を、その感動を心のかたすみかにそっとしまっておいてください。

卒業生の諸君よ、どんな遠くはなれてもどんなに高い地位についても故郷を忘れるな。そこには君たちを育てくれたお母さんがお父さんが、そしてなつかしい山や川があるからだ。

本年度余日幾ばくもなく一年間ご寄稿いただき感謝申し上げます。館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度です。

① 主張、産業、教養、文芸に関するもの何でも結構です。

② 政治的な色彩を帯びたり、個人非難に属するものでないこと。